

平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社中央経済社

コード番号 9476 URL <http://www.chuokeizai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 憲央

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 津原 均

TEL 03-3293-3371

四半期報告書提出予定日 平成24年5月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年9月期第2四半期 | 1,406 | △8.0 | 58 | △61.9 | 71 | △56.6 | 33 | △58.1 |
| 23年9月期第2四半期 | 1,529 | △8.2 | 152 | 82.9 | 164 | 70.2 | 79 | 64.3 |

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 35百万円 (△59.8%) 23年9月期第2四半期 87百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年9月期第2四半期 | 8.91 | — |
| 23年9月期第2四半期 | 21.27 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|-------|---|-------|---|--------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | | |
| 24年9月期第2四半期 | 4,838 | | 3,797 | | 78.4 | |
| 23年9月期 | 4,846 | | 3,810 | | 78.6 | |

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 3,795百万円 23年9月期 3,808百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年9月期 | — | 0.00 | — | 13.00 | 13.00 |
| 24年9月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 24年9月期(予想) | — | — | — | 13.00 | 13.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,750 | △7.2 | 100 | △55.4 | 125 | △50.2 | 53 | △59.2 | 14.21 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 24年9月期2Q | 4,398,464 株 | 23年9月期 | 4,398,464 株 |
| 24年9月期2Q | 667,661 株 | 23年9月期 | 667,661 株 |
| 24年9月期2Q | 3,730,803 株 | 23年9月期2Q | 3,730,839 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報(その他)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) セグメント情報等 | 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| (7) 重要な後発事象 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災による経済活動の停滞から着実に回復に向かっているものの、長引く欧州の債務危機を背景に円や原油の高止まりが続き、景気の先行きが不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは新たな読者層を開拓しようと、従前に続いて積極的に出版活動を行いました。経費については前年と同水準となりました。しかし、原価率が上昇し、売上総利益が減少したため、その分営業利益は前年を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は1,406百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益は58百万円（前年同期比61.9%減）、経常利益は71百万円（前年同期比56.6%減）、四半期純利益は33百万円（前年同期比58.1%減）となりました。

事業別の概況は次のとおりです。

(出版事業)

編集活動は、従前に引き続き新単行本プロジェクトによる開発を行うなど、積極的に行動いたしました。その結果、新刊発行点数・部数とも前年同期と同程度を確保いたしましたが、当社の主力事業である会計分野の実務書開発において大きなテーマがない状況は続いており、返品が増加したため売上が減少いたしました。また、原価率が上昇し、売上総利益が落ち込みました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,341百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は30百万円（前年同期比77.2%減）となりました。

(出版附帯事業)

出版附帯事業の主力事業は、当社雑誌への広告請負代理ですが、紙媒体への広告市場が縮小するなか、その紙媒体の広告から転換する活路が見出せない状況が続いております。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は65百万円（前年同期比19.2%減）、営業利益は12百万円（前年同期比115.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は4,838百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少いたしました。これは主に、土地30百万円の増加等による有形固定資産の増加35百万円があったものの現金及び預金の減少156百万円等による流動資産の減少29百万円、繰延税金資産の減少8百万円等による投資その他の資産の減少14百万円があったことによるものです。

(負債)

負債は1,041百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加いたしました。これは主に、退職給付引当金の増加8百万円による固定負債の増加8百万円によるものです。

(純資産)

純資産は3,797百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少15百万円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は2,336百万円

となり、前連結会計年度末に比べ121百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は12百万円（前年同期比99百万円減）となりました。これは主に、たな卸資産の増加36百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益71百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は86百万円（前年同期比50百万円増）となりました。これは主に、定期預金の減少25百万円があったものの、投資有価証券の取得による支出75百万円、有形固定資産の取得による支出40百万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は48百万円（前年同期比0百万円減）となりました。これは主に、配当金の支払額48百万円によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期の通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月2日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から現時点で変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の変更）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,848,617 | 1,692,450 |
| 金銭の信託 | 664,439 | 673,605 |
| 受取手形及び売掛金 | 951,520 | 950,731 |
| 有価証券 | — | 77,515 |
| 商品及び製品 | 406,166 | 453,440 |
| 仕掛品 | 54,641 | 44,548 |
| 原材料及び貯蔵品 | 6,705 | 5,984 |
| その他 | 78,507 | 83,220 |
| 貸倒引当金 | △395 | △405 |
| 流動資産合計 | 4,010,204 | 3,981,093 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 68,279 | 67,572 |
| 土地 | 441,551 | 471,589 |
| その他（純額） | 7,655 | 14,140 |
| 有形固定資産合計 | 517,485 | 553,303 |
| 無形固定資産 | 36,218 | 37,063 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 138,370 | 139,302 |
| 繰延税金資産 | 86,308 | 77,722 |
| 事業保険積立金 | 39,278 | 36,194 |
| その他 | 22,731 | 15,954 |
| 貸倒引当金 | △4,510 | △1,889 |
| 投資その他の資産合計 | 282,178 | 267,285 |
| 固定資産合計 | 835,883 | 857,652 |
| 資産合計 | 4,846,087 | 4,838,745 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 (平成23年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 470,088 | 497,475 |
| 未払法人税等 | 64,032 | 28,605 |
| 返品調整引当金 | 66,657 | 65,814 |
| 賞与引当金 | 47,104 | 46,263 |
| その他 | 169,024 | 175,861 |
| 流動負債合計 | 816,905 | 814,019 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 218,837 | 227,667 |
| 固定負債合計 | 218,837 | 227,667 |
| 負債合計 | 1,035,743 | 1,041,686 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 383,273 | 383,273 |
| 資本剰余金 | 203,710 | 203,710 |
| 利益剰余金 | 3,521,301 | 3,506,056 |
| 自己株式 | △299,632 | △299,632 |
| 株主資本合計 | 3,808,652 | 3,793,408 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | — | 1,866 |
| その他の包括利益累計額合計 | — | 1,866 |
| 少数株主持分 | 1,691 | 1,784 |
| 純資産合計 | 3,810,344 | 3,797,059 |
| 負債純資産合計 | 4,846,087 | 4,838,745 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 1,529,796 | 1,406,994 |
| 売上原価 | 892,333 | 877,461 |
| 売上総利益 | 637,463 | 529,532 |
| 返品調整引当金戻入額 | — | 843 |
| 返品調整引当金繰入額 | 8,724 | — |
| 差引売上総利益 | 628,739 | 530,375 |
| 販売費及び一般管理費 | 476,406 | 472,357 |
| 営業利益 | 152,332 | 58,018 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,810 | 1,686 |
| 受取配当金 | 77 | 1,088 |
| 受取地代家賃 | 4,677 | 5,018 |
| 負ののれん償却額 | 1,155 | — |
| 投資有価証券評価損戻入益 | 81 | 410 |
| その他 | 4,609 | 5,268 |
| 営業外収益合計 | 12,411 | 13,472 |
| 営業外費用 | | |
| その他 | 0 | 1 |
| 営業外費用合計 | 0 | 1 |
| 経常利益 | 164,744 | 71,489 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 527 | — |
| 賞与引当金戻入額 | 150 | — |
| 負ののれん発生益 | 15,467 | — |
| 特別利益合計 | 16,145 | — |
| 特別損失 | | |
| 災害による損失 | 37,634 | — |
| 固定資産除却損 | — | 16 |
| 特別損失合計 | 37,634 | 16 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 143,255 | 71,472 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 61,548 | 27,450 |
| 法人税等調整額 | △5,924 | 10,672 |
| 法人税等合計 | 55,624 | 38,123 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 87,630 | 33,348 |
| 少数株主利益 | 8,270 | 93 |
| 四半期純利益 | 79,360 | 33,255 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 87,630 | 33,348 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3 | 1,866 |
| その他の包括利益合計 | 3 | 1,866 |
| 四半期包括利益 | 87,634 | 35,215 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 79,364 | 35,122 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 8,270 | 93 |

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自平成22年10月1日 至平成23年3月31日） | 当第2四半期連結累計期間 （自平成23年10月1日 至平成24年3月31日） |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 143,255 | 71,472 |
| 減価償却費 | 5,517 | 6,861 |
| 負ののれん償却額 | △1,155 | — |
| 負ののれん発生益 | △15,467 | — |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △1,693 | △2,610 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △6,056 | △841 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | 6,167 | 8,829 |
| 返品調整引当金の増減額（△は減少） | 8,724 | △843 |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | △81 | △410 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,888 | △2,775 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △28,682 | 789 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 13,704 | △36,460 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △14,689 | 27,386 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | 2,360 | △4,583 |
| 破産更生債権等の増減額（△は増加） | 1,892 | 2,621 |
| その他 | △1,191 | 3,255 |
| 小計 | 110,715 | 72,692 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,178 | 2,507 |
| 法人税等の支払額 | △860 | △62,549 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 112,033 | 12,650 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の増減額（△は増加） | 25,200 | 25,200 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △66,762 | △40,923 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △14,955 | △2,600 |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △75,188 |
| 保険積立金の積立による支出 | △2,263 | △1,946 |
| 保険積立金の解約による収入 | 26,525 | 5,030 |
| 貸付けによる支出 | — | △2,000 |
| 貸付金の回収による収入 | 1,000 | 1,800 |
| 関係会社株式の取得による支出 | 0 | — |
| その他 | △4,200 | 4,200 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △35,455 | △86,427 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 配当金の支払額 | △48,108 | △48,024 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △48,108 | △48,024 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 28,469 | △121,800 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,367,304 | 2,458,256 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,395,774 | 2,336,456 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

当社グループは、主に企業経営全般に関する専門書籍、雑誌の出版・販売を行う出版事業と広告請負代理等を行う出版付帯事業からなっております。広告請負代理は当社の発行する雑誌に掲載する広告を請け負っているものであり、雑誌制作全体から見て一体のものであるといえます。したがって、事業セグメントは単一と判断し、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。